



＼ イベント報告書を書くべき理由とは？ ／

作成のポイントや注意点解説

Agenda

イベント結果をまとめた報告書を作成すべき4つの理由	P.3
イベントの報告書を書く際の4つのポイント	P.4
イベント報告書を作成する際の注意点4つ	P.5
まとめ	P.6
LINE集客ならチケットfor LINE Hybrid	P.7
導入事例/お役立ち情報	P.8
株式会社ICのご紹介	P.9

イベント結果をまとめた報告書を作成すべき4つの理由

1

結果を記録して改善点を共有し、次回に活かす

- イベント結果を調査したり分析したりする際は、アンケートをとることで客観的な評価や感想が得られる

2

前回のイベントと比較して成長点を判断できる

- 次のイベント開催後に前回との比較が簡単にできる

例

イベント参加者数やSNSの口コミ件数、イベントでの売上などを記録しておくことにより、具体的な数値の変化を確認できる

3

イベントのスポンサーや協賛企業に報告するため

- スポンサーや協賛企業がいる場合の報告にも利用する
- イベントを成長させることで宣伝効果も大きくなり、スポンサーや協賛企業などへ還元ができる

4

イベントの報告書はブランディングにも活用可能

- 社外向けに要点をまとめた報告書を発信すると、どのくらいの規模なのかを認知されやすくなる

イベントの報告書を書く際の4つのポイント



1

報告書の作成目的、誰に向けて書くのかを確認する

- 定期的にイベントを開催する度に報告書を作成する場合は、特に報告書の目的を決めておくべき
- 「報告書を作成する」という手段がゴールにならないよう注意



2

事前にアンケートを行って「参加者の声」を集める

- 「参加者の声」を報告書にまとめることで、反省や改善点を見つける際に参考にできる
- アンケート結果は次回イベントの宣伝告知にも活用できるため、さらなる効果が期待できる



3

数字を用いて客観的な事実や結果を報告する

- 報告書を見た人が、よりイベントについてイメージしやすくなる
- 次のイベント開催後に前回との比較を行う際、言葉よりも数字のほうがより正確に比較できる



4

できるだけ少ない枚数でまとめる

- 文章は最小限にして、グラフや表などの資料を用意すると内容が分かりやすくなる

イベント報告書を作成する際の注意点4つ

⚠
1

画像（写真）挿入は肖像権について確認する

- イベント会場などの写真を載せたい場合は、参加者の顔が分からないもの、あるいは被写体の本人から許可をもらって撮影した写真を使う

⚠
2

文末表現を統一しているか確認する

- 「である調」あるいは「ですます調」など、文末表現を統一することは文章における常識

⚠
3

グラフや数値はデータの根拠、出所を明記する

- アンケートの回答内容をまとめて数値化していたら、「イベント後に行ったアンケート結果をもとに作成」と注釈しておく
- インターネットからグラフや表を引用する場合には、必ず引用元や出典などを明記する

⚠
4

イベント内容を時系列でまとめているか確認する

- 時系列にまとめられていないと、非常に読みにくい上に内容が頭に入ってこないので注意する

まとめ



イベント結果をまとめた報告書を作成すべき4つの理由

結果を記録して改善点を共有し次回に活かす

前回のイベントと比較して成長点を判断できる

イベントの
スポンサーや協賛
企業に報告する為

イベントの報告書はブランディングにも活用可能



イベントの報告書を書く際の4つのポイント

作成目的/誰に向けて書くのかを確認する

事前にアンケートを行って「参加者の声」を集める

数字を用いて客観的な事実や結果を報告する

できるだけ少ない枚数でまとめる



イベント報告書を作成する際の注意点4つ

画像（写真）挿入は肖像権について確認する

文末表現を統一しているか確認する

グラフや数値はデータの根拠/出所を明記する

イベント内容を時系列でまとめているか確認する



Point

イベント開催毎に結果をまとめた報告書を作成することで多くのメリットが得られる

LINE集客ならチケットfor LINE Hybridがおすすめ！

LINEで簡単に チケットの販売管理を

チケットfor LINE Hybridは、
LINEでできるクラウド型チケット
販売管理サービスです。



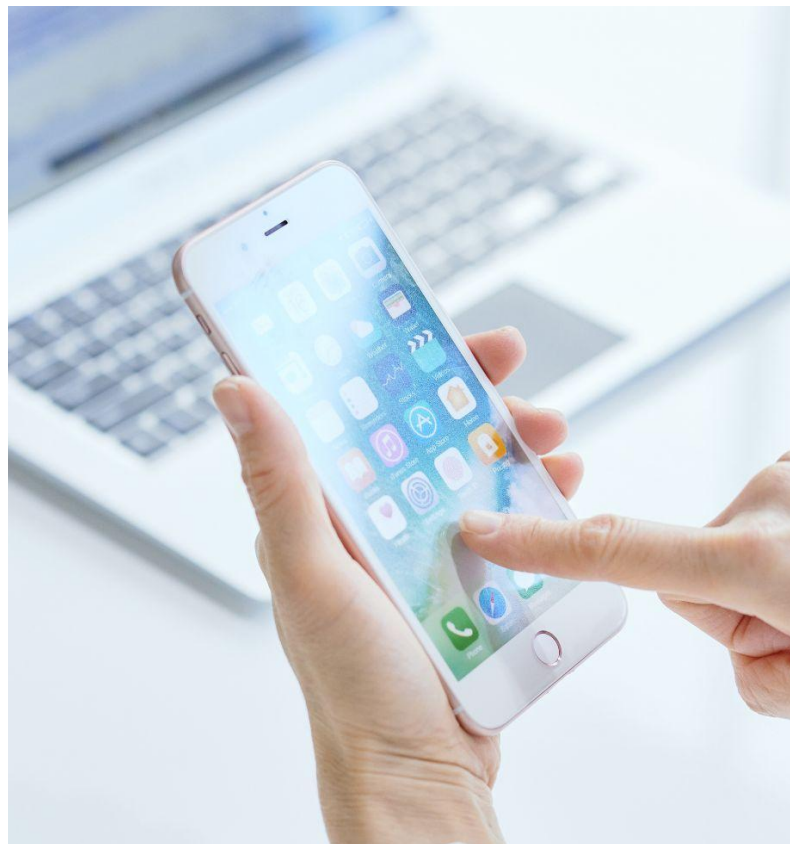
LINEと連携

LINEをUIとした
電子チケットシステム

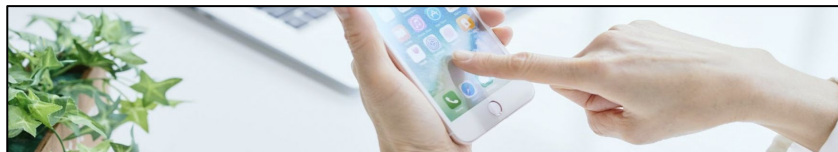


初期導入費
月額固定費

0円



導入事例



イベント業務が^楽になる！
クラウド型チケットシステム

導入成功事例

✓ チケットfor LINE Hybridを導入した企業事例

✓ チケット管理のオンライン化を成功する秘訣

詳細はこちら

[https://tfl.ic-product.jp/information/
tag/導入事例/](https://tfl.ic-product.jp/information/tag/導入事例/)



お役立ち情報



✓ チケット管理のトピックス

✓ セミナー情報も随時更新中

詳細はこちら

<https://tfl.ic-product.jp/information/>



その他のお問合せ

— お気軽にご連絡ください —

電話

0120-014-110
(平日：09:00～17:00)

メール

ticket-line_inquirie
@ic-net.co.jp

当社のサービスサイトもぜひご覧ください

<https://tfl.ic-product.jp/>



会社概要

商号

株式会社IC

代表

代表取締役社長執行役員 齋藤 良二

代表取締役副社長執行役員 三澤 昇平

事業内容

情報サービス分野におけるソリューションの提供

ITソリューション

ITサービス

- ・ソフトウェア開発
- ・インフラ設計構築
- ・システム運用支援
- ・パッケージ開発/導入支援

資本金

4億7百万円（2021年9月末現在）

設立

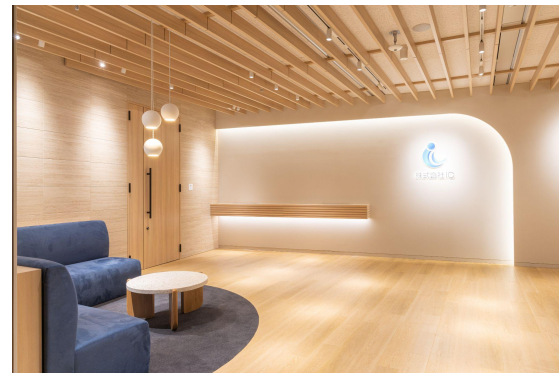
1978年2月20日

拠点

東京都港区港南2丁目15番3号 品川インターシティC棟7階

ホームページ

<https://www.ic-net.co.jp/>



END